

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:平成28年度】

(③駐車・駐輪施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川駅北第1、駅北第2、駅南自転車等駐車場			担当課名	産業労働政策課	
区分		内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市自転車等駐車場条例					
	(2)施設設置目的	掛川駅周辺における自転車等の利用者の利便性に資するとともに、自転車等の駐車秩序の確立を図るため					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	駅北第1 1,152台(鉄骨造2階建) 駅北第2 239台 駅南 424台 3施設合計 1,815台					
	(4)施設建設年度	昭和63年3月開業(新幹線新駅開業と同時)					
	(5)耐震性能の有無	有(※建物は駅北第1のみ)					
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)						
	(7)指定管理者名	かけがわ街づくり株式会社					
	(8)指定期間	平成27年 4月 1日 から 平成30年 3月31日 まで					
	(9)債務負担行為設定の有無	<input type="checkbox"/> 設定あり <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし ※設定ありの場合、(期間 平成 年度～平成 年度) (限度額 千円)					
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営					
	(11)自主事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
	(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
	(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
	(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)					
区分		H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	530,000	530,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	534,587	529,079	514,994		
	内訳(施設・設備ごと)	駅北第1	315,071	313,848	295,453		
		駅北第2	78,005	77,298	79,808		
		駅南	141,511	137,933	139,733		
	(2)稼働率(利用率)					↓備考欄に算定式を記入してください↓	
	(施設・設備ごと)	A平日昼間					
		B平日夜間					
C土日祝昼間							
D土日祝夜間							

2 利用状況	(施設・設備ごと)	A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					
		A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					
		A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					
区分		H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		24	21	21		
	(3)運営日数		365	366	365	365	
	(4)運営人員	①正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
②臨時職員		3.0	3.0	3.0	3.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	8,150,000	4,213,309	5,432,559	5,500,000	
	②印刷費					
	③通信費	1,000				
	④事務用品、旅費、図書費など	1,100,000	754,751	1,049,664	800,000	印刷費含む
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	3,326,000	6,011,230	4,568,831	5,883,600	
	計	12,577,000	10,979,290	11,051,054	12,183,600	
	対前年度増減率		△ 12.7	0.7	10.2	
区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	12,684,000	14,422,310	14,350,546	14,418,000	
	管理補助業務	9,450,000	14,005,430	13,966,066	14,000,000	
	夜間警備	3,150,000	343,440	311,040	344,000	
	消防施設保守点検	84,000	73,440	73,440	74,000	
	②修繕費	70,000				
	③光熱水費					
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
⑦その他(施設消耗品)	70,000					
計	12,824,000	14,422,310	14,350,546	14,418,000		
対前年度増減率		12.5	△ 0.5	0.5		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	25,401,000	25,401,600	25,401,600	26,601,600		
(4)合計のうち運営コストの割合	49.5	43.2	43.5	45.8		
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	31,694,850	31,111,750	30,668,600			
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	252.0	283.4	277.5			

III 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設使用料収入	31,694,850	31,111,750	30,668,600	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	25,401,600	25,401,600	25,401,600	
収支差額 a) - b)	6,293,250	5,710,150	5,267,000	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)				
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	なし
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 駅北第1駐輪場の利用率	80%以上	70.0%	2	学生以外の利用者の増加に努めることによって、年度末の学生利用者の減少を改善する。
B 駅北第2駐輪場の利用率	95%以上	91.0%	2	学生以外の利用者の増加に努めることによって、年度末の学生利用者の減少を改善する。
C 駅南駐輪場の利用率	95%以上	90.0%	2	学生以外の利用者の増加に努めることによって、年度末の学生利用者の減少を改善する。
D 駐輪場内の事故発生件数	5件未満	5件	2	とだちに管理人の声かけや啓発ポスター設置等によって施錠の徹底を行う。
E 苦情受付件数	5件未満	5件	2	内容を整理し、同様の苦情が再度来ないよう対策を行う。
F 施設の利用台数(台)	530,000	514,994	2	学生以外の利用者の増加に努めることによって、年度末の学生利用者の減少を改善する。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	3	なし
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	施設の形態が古く、入口と通路が狭いことや2Fへのスロープ移動など、高齢者に負担の掛かる作りとなっていることから、事故の危険性は少なからず潜んでいる。建物自体が古いため、改善するには建替えが最良と考えられるが、工事費が莫大であることから中期的な計画に基づいて実施していきたい。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	駐輪場運営自体は民間で実施できる事業であるが、大幅な黒字が現実視できる事業であり、その利益を特別会計や一般会計において様々な予算に充てていることから、行政の関与は必要である。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいらないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	なし
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

25

／33

V その他自由意見

--